

癌化学療法輸液約束処方 非ホジキンリンパ腫

癌種 CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫(再発・難治)

レジメン名 NHL4 R-GDP

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与日	投与時間	1クール期間
デカドロン	デキサメサゾン	DEX	40 mg	P.O	DAY1-4	1日2回	21-28日間
ゲムシタビン	ゲムシタビン	GEM	1000 mg/m ²	div	DAY1, 8	30分	
シスプラチン	シスプラチン	CDDP	75 mg/m ²	div	DAY1	2時間	
リツキサン	リツキシマブ	R	375mg/m ²	div	DAY 8	下記参照	

R-GDP

【DAY 1】 Rp:デカドロン40mg 分2 朝・夕食直後 4日分

- ① NS 500 ml + マグネゾール 1A / 1.5 時間
- ② NS 50 ml + グラニセトロン 3mg / 5分
- ③ NS 100 ml + ゲムシタビン mg / 30 分
- ④ 20% マンニトール 300 ml / 30 分
- ⑤ NS 400 ml + シスプラチン mg / 2 時間
- ⑥ NS 500 ml / 1.5時間

【DAY 8】

- ① NS 50ml + ポララミン 1A + ソルコーテフ 100mg
+ グラニセトロン 3 mg / 15分 ☆別々のシリンジで
- ② NS 500ml + リツキサン mg /
[初回] 50ml/hr から開始し、30分毎に 50ml ずつあげる
100ml/hr→150ml/hr→200ml/hr……最大 400ml/hr まで
[2回目以降] 100ml/hr から開始し、30分毎に 100ml ずつあげる
200ml/hr → 300ml/hr → 400ml/hr
- ③ NS 50 ml / 5分
- ④ NS 100 ml + ゲムシタビン mg / 30 分
- ⑤ NS 50 ml / 5分

<オプション> イメンドカプセルセット

<注意> DAY1当日は500ml以上の飲水推奨。

< 調整方法 >

リツキサンは 1mg/ml となるように生理食塩水(5%Tzも可)で希釈する。(10倍希釈)

輸液バックは緩やかに混和する。振とうにより泡立つと抗体凝集がおきる。

< 備考 >

- ① 投与速度は 初回は50ml/hr から開始し、30分毎に 50ml ずつ速度を上げる。最大 400ml/hr
- ② 2回目以降は 100ml/hr から開始し、30分毎に 100ml ずつ速度を上げる。最大 400ml/hr
- ③ infusion reaction に注意(投与速度とIR発現は相関する)。投与再開する場合は 投与速度を半分以下に下げる。
- ④ 化療前に HBsAg,HBcAb,HBcAb 原則確認。(抗体陽性症例は投与中、投与終了後もHBVDNAをモニタリング)
- ⑤ リツキサンはフィルター(0.2 μ mのインラインフィルター:テルモ)使用可能。
- ⑥ NCIC CTG LY.12 試験において、DHAP療法に対するGDP療法の非劣性が証明され、FNなどの有害事象は有意に低くQOLの維持が示唆された。

H26.12.17 作成

R4.7.22 改訂